

2019年度キューピーみらいたまご財団事業計画書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

当財団の設立目的の「『食』に関わる社会課題の解決に向けて、『食育』を中心とした社会貢献活動を行う団体を広範に支援することなどを通じ、健やかな社会の実現に貢献する」に向け、食育活動および子どもの貧困対策などに取り組む団体への寄付を中心とした助成活動を行います。

本年度より公益財団法人へ移行することを前提に、助成活動についてはこれまで以上に公益に資する活動を念頭におき、その範囲を拡大するとともに、しっかりしたガバナンス体制の確立をめざします。

同様に、助成事業公募にあたっては、助成を必要とする団体、個人にさらなる周知徹底をめざし、より応募しやすい方法を工夫します。

また、ホームページを中心に幅広い方法で公募を行い、当財団にて選考し決定します。

1. 食育活動への助成

食には、体を作る、体の調子を整えるなどの栄養機能だけでなく、興味・関心や意欲の向上など、健全な心を育む重要な役割があります。

近年ライフスタイルが多様化する一方、栄養バランスの崩れからくる生活習慣病の増加、調理スキルの低下、若い世代の食への興味・関心の低下など、食を取り巻く社会課題はますます大きくなっています。2016年3月に新たに策定された「第三次食育推進基本計画」においても、食育のテーマや取り組むべき主体が拡大してきています。当財団でも、それら課題の解決に取り組む団体へ積極的な助成を行います。

2. 子どもの貧困対策への助成 ～食を通じた居場所づくり支援

ここでいう「貧困」とは、「経済」だけでなく、「体験」、「交流」の乏しさから生ま

れる課題を意味しており、当財団ではこれらの解決をめざした居場所作り支援への助成を行います。

全国各地で急速に拡大する子ども食堂などの子どもの居場所支援の活動はその活動主体や取り組み内容に様々な形と特徴があります。

(食育／親子・共食体験／多世代交流／学習支援／子どもの貧困／ネットワーク形成支援・啓発活動)

当財団では、子どもの心と身体の成長そして自立支援に向け、食の提供や料理・共食などの食の体験に積極的に取り組む「こども食堂」などの団体の立ち上げ支援や設備購入、そして活動定着に向けたネットワーク形成へ助成を行います。

3. 食を通した居場所づくり活動を推進するセミナーの開催

急速に拡大するこども食堂などの活動の定着を目的に、展開事例紹介や団体同士のネットワークづくりにつながるセミナーを開催します。

(取り組みテーマ例)

- ・生活習慣病予防など健康に配慮した食の普及
- ・料理スキル向上
- ・野菜の栽培・収穫などの農業体験
- ・地域や家庭での共食
- ・家庭や地域での食品ロス削減
- ・農業従事者拡大など農業支援
- ・食文化継承
- ・食育コンテンツ開発
- ・食育指導者の育成
- ・食育につながる研究活動

●当年度助成計画

- ・公募期間 2018年10月15日～2018年11月30日
- ・助成対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・助成金総額 2500万円

●2019年度収支予算書

収支予算書につきましては、キューピー株式会社の2019年度配当予想の発表に基づき2019年3月の理事会決定後、開示いたします。